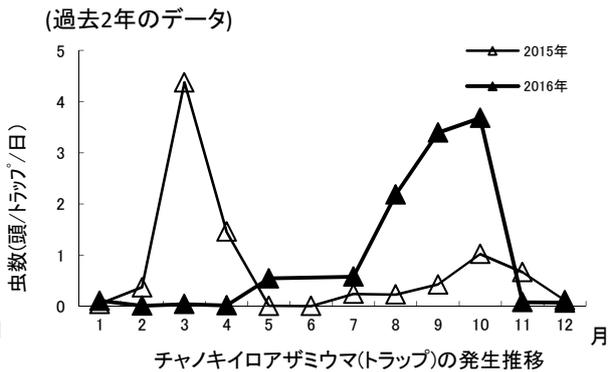
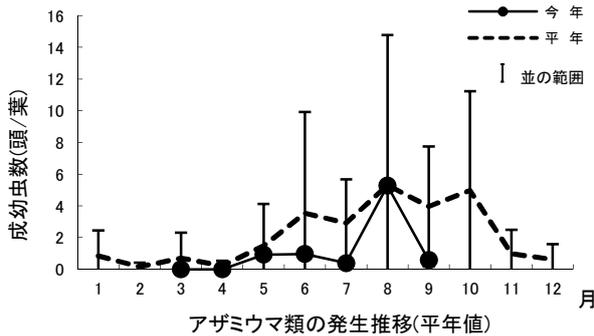
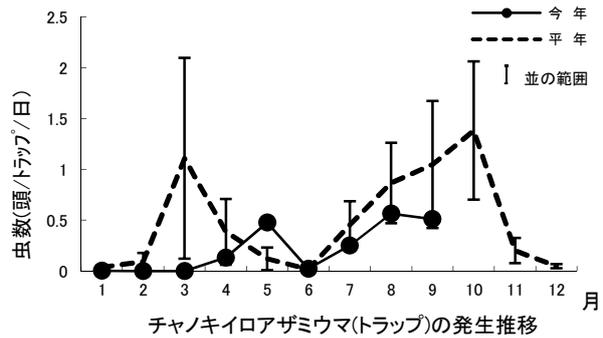
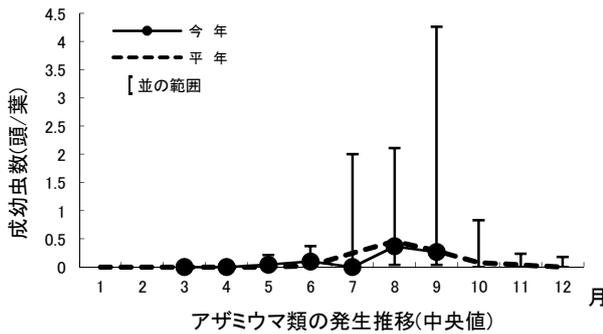


作物	マンゴー	地域	宮古群島
病害虫名	① チャノキイロアザミウマ		
9月の発生量(現況)	並		
10月の増減傾向	↗		
増減傾向の根拠	成虫・幼虫及びトラップの平年の発生推移、新梢の発生が続いていること、今後1ヶ月の気温が高い見通しから、9月より発生量は増加すると考えられる。		

発生量の根拠(調査結果)

- ・ 9月下旬の調査の結果、葉当たり成虫・幼虫数(中央値)は0.3頭(前年13.7頭、平年0.3頭)と平年並であった。
- ・ 9月の黄色粘着トラップへの日・トラップ当たり誘殺虫数は0.5頭(前年3.4頭、平年1.1頭)と平年並であった。

(今年のデータ)



防除のポイント

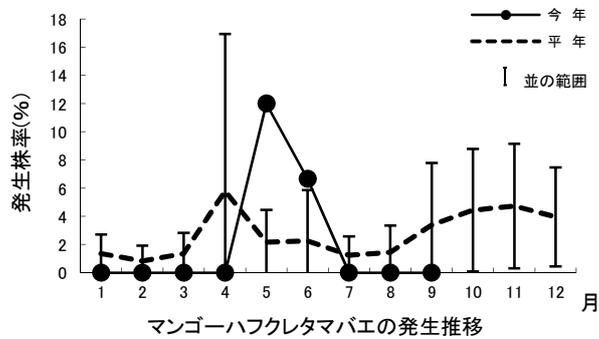
- ・ 新梢発生時期には本種が増加する傾向にあるので、早期発見・早期防除を行う。
- ・ 不要な新梢は早い時期に除去する。
- ・ 発生源となる施設内外の雑草を除去する。
- ・ 薬剤抵抗性を発達させやすいので、同系統薬剤の連用を避ける。
- ・ 平成29年度病害虫発生予報第5号(平成29年7月27日付)コラム参照。

作物	マンゴー	地域	宮古群島
病害虫名	② マンゴーハフクレタマバエ		
9月の発生量(現況)	(発生なし)並		
10月の増減傾向	↗		
増減傾向の根拠	成虫・幼虫及びトランプの平年の発生推移、新梢の発生が続いていること、今後1ヶ月の気温が高い見通しから、9月より発生量は増加すると考えられる。		

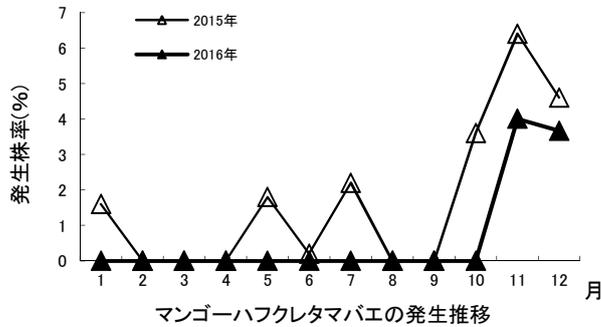
発生量の根拠(調査結果)

- ・ 9月下旬の調査の結果、発生株率は0% (前年0%、平年0.5%)と平年並であった。

(今年のデータ)



(過去2年のデータ)



防除のポイント

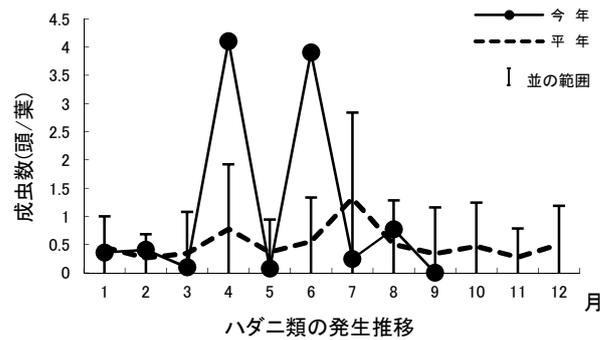
- ・ 幼虫は、新葉から新梢の軸までの柔らかい組織内に潜行して食害し、成熟すると飛び出し、地面に落下して蛹化する。
- ・ 不要な新梢は本種の発生を助長するので、早い時期に除去する。
- ・ 平成29年度病害虫発生予報第5号(平成29年7月27日付)コラム参照。

作物	マンゴー	地域	宮古群島
病害虫名	③ ハダニ類		
9月の発生量(現況)	(発生なし)並		
10月の増減傾向	↗		
増減傾向の根拠	雌成虫数の平年の発生推移、今後1ヶ月の気温が高い見通しから、9月より発生量は増加すると考えられる。		

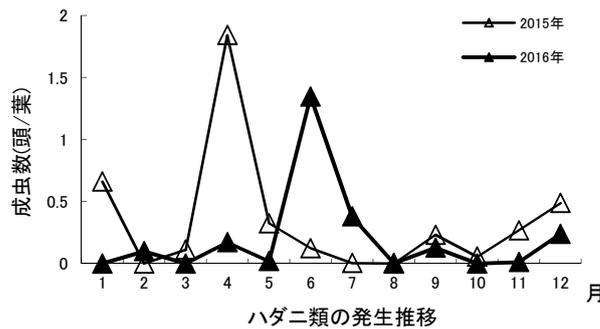
発生量の根拠(調査結果)

- ・ 9月下旬の調査の結果、葉当たり虫数は0頭(前年0.1頭、平年0.3頭)と平年並であった。

(今年のデータ)



(過去2年のデータ)



防除のポイント

- ・ 薬剤抵抗性を発達させやすいので、同系統薬剤の連用を避ける。
- ・ 平成29年度病害虫発生予報第5号(平成29年7月27日付)コラム参照。